



小学部 自立活動「きらめきタイム」の紹介

(小学部では自立活動の授業をきらめきタイムと呼んでいます)

題材名

「自己理解 ～やる気のメーターを作ろう～」

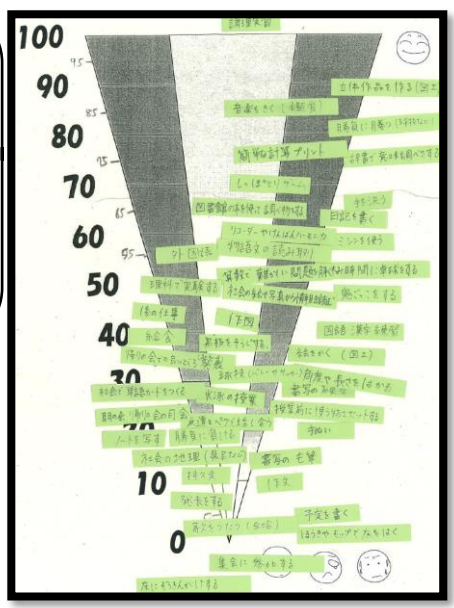
自立活動学習指導要領【関連項目 1 健康の保持(4)、3 人間関係の形成(3)、6 コミュニケーション(5)】

目的：自分の気持ちがどのような活動でやる気が出たり、落ち着いたり、落ち込んだりするかを理解する。

内容

0～100まで気持ちを数値化したシートに、児童が活動（授業の内容や状況）を児童が振り分ける。0に近づくほど、落ち着いている状態。

※活動には「算数」「国語」「図工」などの教科名や「日記を書く」「集会に参加する」「絵を描く」などが入る。



児童のあらわれ

やる気のメーターを作ることで、どのような活動や状況のときにいらいらしたり、落ち込んだりするのかを整理できました。そして、そのような活動の前にはどうしたら参加できるのか先生と話し合うことができるようになりました。

題材名

「自己表現 ～ティッシュとばしゲーム～」

自立活動学習指導要領【関連項目 3 人間関係の形成(3)(4) 6 コミュニケーション(2)(5)】

目的：自分の気持ちに気づき、他者に言葉や文字で伝える。

内容

ティッシュを1枚折り曲げずに、より遠くに飛ばす勝敗がつくゲームである。ゲームの前には、「勝っても負けても大丈夫。」と合言葉を知らせるようにした。そして、ゲーム後には気持ちをワークシートや発表の場面で気持ちの振り返りを行う。言語化させるために気持ちを表す言葉の一覧表や表情イラストを用意した。



児童のあらわれ

「ティッシュとばしゲーム」後、振り返りを行うことで、勝ったときには「嬉しかった。」「楽しかった。」と伝えることができた。負けたときには初め何も伝えられなかった児童には教師が負けたときに「負けて悲しい。」と伝える手本を見せると児童も「悔しかった。」「残念だった。」と伝えることができるようになった。